

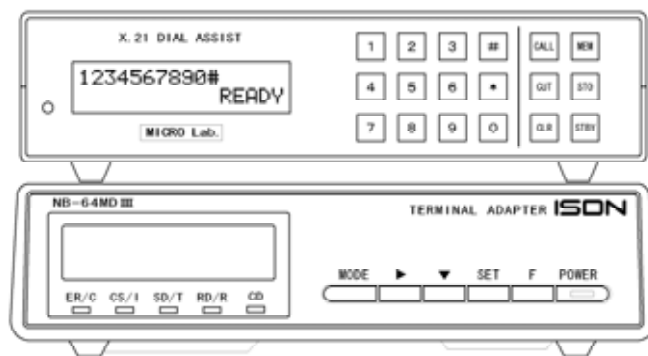
Information

MICRO Lab.

広島市安佐南区沼田町大塚145
TEL 082(830)1030
FAX 082(830)1034

X.21 Dial Assist のご紹介

ダイヤルボタンを装備していないTAに接続し、簡単にダイヤルすることができる Dial Assist (右図上段)を紹介します。



接続可能なTA: 1台。

発信方式: X.21アドレスコール。

発信機能: テンキー操作による手動発信。
メモリーダイヤル(10ヶ所)による電話番号呼び出し。

着信機能: 自動着信 / 手動着信の選択可能。(*1)
相手の電話番号表示可能。(*2)(*3)
(*1) 手動着信ではTAの「BEL設定」の秒数内(60sか0.5s)に[CALL]を押さないと着信拒否になります。
(*2) TAを「相手アドレス通知あり」に設定しておきます。
(*3) 相手番号は、応答するまで表示されません。(アドレスコールの仕様による)

テンキー、操作キー:

0~9、*、#: 番号入力用、最大32桁(サブアドレス含む) + '#' まで入力可能。

CALL: 発信ボタン、手動着信ボタン。

CUT: 切断ボタン、手動着信拒否ボタン。(誤操作防止のため、長く押した時だけ切断します)

CLR: 入力した番号を末尾から消去。(BSキー)

MEM: メモリーダイヤル呼び出し。[MEM]+[0]~[9] でメモリーを選択。
[MEM]+[#]でリダイヤル、[MEM]+[*]で最後の着信先を呼び出すことも可能。

STO: メモリーダイヤル登録。[STO]+[0]~[9] で登録するメモリーを選択。

STBY: 自動着信 / 手動着信の切替。

自動着信モードのステータス表示「READY」。

手動着信モードのステータス表示「STBY」。着信があると疑似ベルを鳴らし、TAの規定秒数以内(60sか0.5s)に[CALL]ボタンを押すと接続します。上記(*1)

LCDディスプレイ: バックライト付き 16文字 x 2行表示

1行目: 発信番号 / 着信番号

2行目: 通信時間表示 999分59秒までカウント。

ステータス表示: READY、STBY、ONLINE、CALLing、チャクシン、セツダン。

エラー表示: 発信時のエラーなどを表示。

DIP SW 設定: (底面に装備)

No.1: バックライト OFF: 常時点灯 ON: 何か変化があった時、約1分間点灯

No.2: テンキー操作音 OFF: あり ON: なし

No.3: 警告音 OFF: あり ON: なし

警告音の種類

「ピ」x2: 入力間違い、発信後接続完了した

「ピ」x3: 発信エラー

「ピ」x4: 着信後接続完了した

「ピ」x6: 回線が切れた

その他:

使用コネクタ: TA、CODEC 共に Dサブ15ピン メス、M3ビス

付属品: 本装置 TA 接続ケーブル(長さ50cm)

外形寸法: 幅 184mm x 高さ 44mm x 奥行き 125mm (突起は含みません)

重量: 1,300g

電源: AC100V 50/60Hz 7W

(この仕様は、2007年8月現在のものです。)

Dial Assist パッケージ

NB-64MDシリーズでのテンキーからの発呼システム

